慣用句(上級)プリント1（ルビつき） No.32（ルビつき）

なまえ

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

出席番号　　必要な人は書く

問1 信頼関係を築くために（　）を割って話そう。（　）に入る言葉はどれですか？

○ 顔　○ 胸　○ 腹　○ 頭

問2 先輩の失敗の二の（　）を演じる。（　）に入る言葉はどれですか？

○ 曲　○ 舞　○ 幕　○ 役

問3 議論が長引いたが、ついに（　）をつけて決着させた。（　）に入る言葉はどれですか？

○ 白黒　○ 金銀　○ 黄緑　○ 赤青

問4 「顔がきく」の意味はどれですか？

○ 顔の表情だけで相手を威圧することができる
○ 顔の筋肉がよく動き、表情が豊かである
○ 信用や力で、無理な頼みも聞いてもらえる
○ 顔の造作が整っていて人目を引く

問5 彼は最近、新しい趣味に（　）を上げている。（　）に入る言葉はどれですか？

○ 腕　○ 腰　○ 声　○ 熱

問6 「歩調を合わせる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

○ 相手を負かすために、相手と歩調を合わせる。
○ プロジェクトの成功のため、他部署と歩調を合わせる。
○ 遅れを取り戻すために、歩調を合わせて急いで走った。
○ 1人で集中するために、静かに歩調を合わせた。

問7 舞台のクライマックスで（　）を切る。（　）に入る言葉はどれですか？

○ 見聞　○ 見当　○ 見得　○ 見物

問8 彼が並べた甘い愛の言葉に、思わず（　）が浮いた。（　）に入る言葉はどれですか？

○ 耳　○ 歯　○ 鼻　○ 目

問9 「気を取られる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

○ 窓の外の景色に気を取られて、授業の内容を聞き逃した。
○ 泥棒に財布を気を取られたので、警察に届け出た。
○ 気を取られるほど、彼は美しい絵を描くことに集中した。
○ 彼は気を取られるのが好きで、いつも人を驚かせる。

問10 「身の置き所がない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

○ 満員電車で身の置き所がない。
○ 部屋が散らかっていて身の置き所がない。
○ 引っ越し先が決まらず身の置き所がない。
○ みんなに注目されて、身の置き所がない。

問11 「鳴りを潜める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

○ にぎやかな音楽を、鳴りを潜めて大きな音で流した。
○ 応援団が鳴りを潜めて、声をからして大声で応援した。
○ いたずら好きの弟も、先生にしかられてからは鳴りを潜めている。
○ 目覚まし時計が鳴りを潜めて、朝早く大きな音で鳴った。